

# 群大重粒子倶楽部



## CONTENTS

❖ 説明資料のリニューアル

❖ 実施報告

第19回市民向け公開講演会「心と体にやさしい重粒子線がん治療」

2023年度群馬大学重粒子線がん治療施設見学会

❖ 重粒子線医学センターへの患者さんのご紹介について

# 説明資料のリニューアルについて

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター 北田 陽子

群馬大学医学部附属病院重粒子線医学センターでは、これまでに約6800名の患者さんへ治療をさせていただいております。先進医療で開始した重粒子線治療も、過去3回の診療報酬改定により保険適用となる疾患が増えており、現在は、骨軟部腫瘍、前立腺癌、頭頸部腫瘍、肝細胞癌、肝内胆管癌、局所進行性膵癌、手術後の大腸癌再発、子宮頸部疾患が保険診療で行われています。昨年は843名と過去最多の治療患者数となりましたが、そのうちの約9割の治療が保険診療で行われており、多くの患者さんにとって少しずつ身近な治療となりつつあることを感じております。また、治療の内容についてなど、重粒子線治療に関するお問い合わせをいただいております。より多くの皆様へ重粒子線治療のことを知っていただくことも、治療を担う施設の役割の一つであると考えております。

当センターでは、開設当初から重粒子線治療について、パンフレット等の説明資料を作成してまいりました。今回は、患者さんやご家族向けに詳しい疾患別の治療の内容を記載したパンフレット「がん治療を受ける方へ 群馬大学の重粒子線治療」(写真)と、医療従事者の皆様向けの疾患別治療の詳細を大幅に改訂いたしました。患者さんやご家族向けのパンフレットについては、医院やクリニックの待合や受付、病院ではがん相談支援センターや相談窓口等で、手に取りやすい大きさに作成しました。内容も、



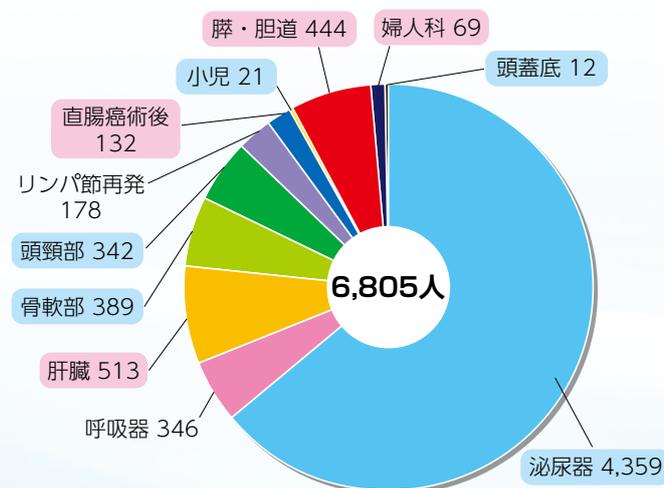
受診手続きから経過観察まで、患者さんやご家族からよくお問い合わせのある内容を掲載しております。パンフレットの設置や送付を希望される方は、裏表紙の連絡先にお問い合わせください。今後も患者さんや患者さんのご家族に分かりやすい情報を提供していけるよう努めて参ります。

「疾患別のご案内」についてはホームページからも閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。



疾患別のご案内ページのQRコードはこちら

## 重粒子線治療患者の内訳



※数字は延べ治療人数(2010年3月~2023年10月末まで)

## 保険適用の疾患

- 限局性の骨軟部腫瘍\*
- 頭頸部悪性腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く。)
- 限局性及び局所進行性前立腺癌(転移を有するものを除く。)
- 肝細胞癌(長径4センチメートル以上のものに限る。)\*
- 肝内胆管癌\*
- 局所進行性膵癌\*
- 局所大腸癌(手術後に再発したものに限る。)\*
- 局所進行性子宮頸部線癌\*

※手術による根治的な治療法が困難であるものに限る。

## 第19回市民向け公開講演会 「心と体にやさしい重粒子線がん治療」の実施について

昭和地区事務部経営企画課

2023年9月24日、公益財団法人医用原子力技術研究振興財団と群馬大学医学部附属病院の共催による市民向け公開講演会「心と体にやさしい重粒子線がん治療」をGメッセ群馬（高崎市岩押町）で開催し、約260名の方にお越しいただきました。

講演会の開会にあたり、医用原子力技術研究振興財団の辻井博彦副理事長と群馬大学医学部附属病院の齋藤繁病院長から挨拶の後、第Ⅰ部に高崎チェンバーミュージックソサエティの演奏会が行われました。モーツァルトやヴィヴァルディの聴き馴染みのある曲が披露され、会場が素敵な音楽と温かな雰囲気にも包まれました。第Ⅱ部に群馬大学医学部附属病院重粒子線医学センターにおける最新の重粒子線治療の状況や取組みについて「前立腺がん」「子宮がん」「肺がん」「肝臓がん」の疾患別に講演会が行われました。質疑応答の後、群馬大学医学部附属病院の大野達也重粒子線医学センター長からの挨拶で閉会となりました。

参加した方からは「とても有意義な時間でした。重粒子線がん治療の現状をよく理解できました」「市民向けに医療講座を開催していただき、群馬大学病院と市民との繋がりの部分においても、とても良いことだと思いました」等のご感想をいただきました。

講演会の様子は、群馬大学公式YouTubeチャンネルで配信しています。ぜひご覧ください。



◀高崎チェンバーミュージックソサエティ 演奏会



重粒子線がん治療 講演会▶

## 2023年度群馬大学重粒子線がん治療施設見学会の実施について

昭和地区事務部総務課法規・広報係

一般の方々を対象とした重粒子線がん治療施設の見学会を2023年10月28日に開催しました。当日は本学医学部の学園祭と同日開催で行われ、約600名の方にお越しいただき無事終了いたしました。

今回は、治療室や加速器室など各部屋に展示された説明ポスターをご覧になりながら施設内部を自由に見学いただく自由見学制で行いました。

参加者の方々は機器や治療室等を見て回りながら、医療スタッフに質問されたり、治療の流れを確認されたりと、思い思いに見学されていました。参加した方からは「とても有意義な時間だった」「どんな施設だったのか気になっていたのので、見学できて良かった」等のご感想をいただきました。

また、今年度は『スタンプラリー』と『子ども向けアクティビティ：診療放射線技師のおしごと体験』をイベントとして企画したところ、どちらも定員を超えるご参加をいただきました。スタンプラリーでは、施設内を巡りながらスタンプを集めてもらいましたが、「あと1個が見つからない!」「やっと全部集まった!」等、ご家族一緒になってスタンプ集めを楽しんでいる様子も見受けられました。診療放射線技師のおしごと体験は、小学校高学年から高校生までの子ども向けアクティビティとして企画しまし

た。「放射線とは?重粒子線とは何か?」を説明し、実際に治療に使う固定具（正確な照射のために患者さんの体を固定するもの）を作成する様子を見学してもらおう等、放射線技師の立場から重粒子線治療を知ってもらうための体験教室となりました。参加された方には、白衣をまといながら真剣な表情で説明を聞いたり、固定具の元となる素材を触ってみたり等、日常ではできない体験を通して放射線技師の仕事に触れてもらいました。この体験が、将来の進路選択の一助となりましたら幸いです。

来年度も当見学会を企画しますので、ぜひご参加ください。



加速器室見学の様子



模型見学の様子



治療室見学の様子



『診療放射線技師のおしごと体験』の様子

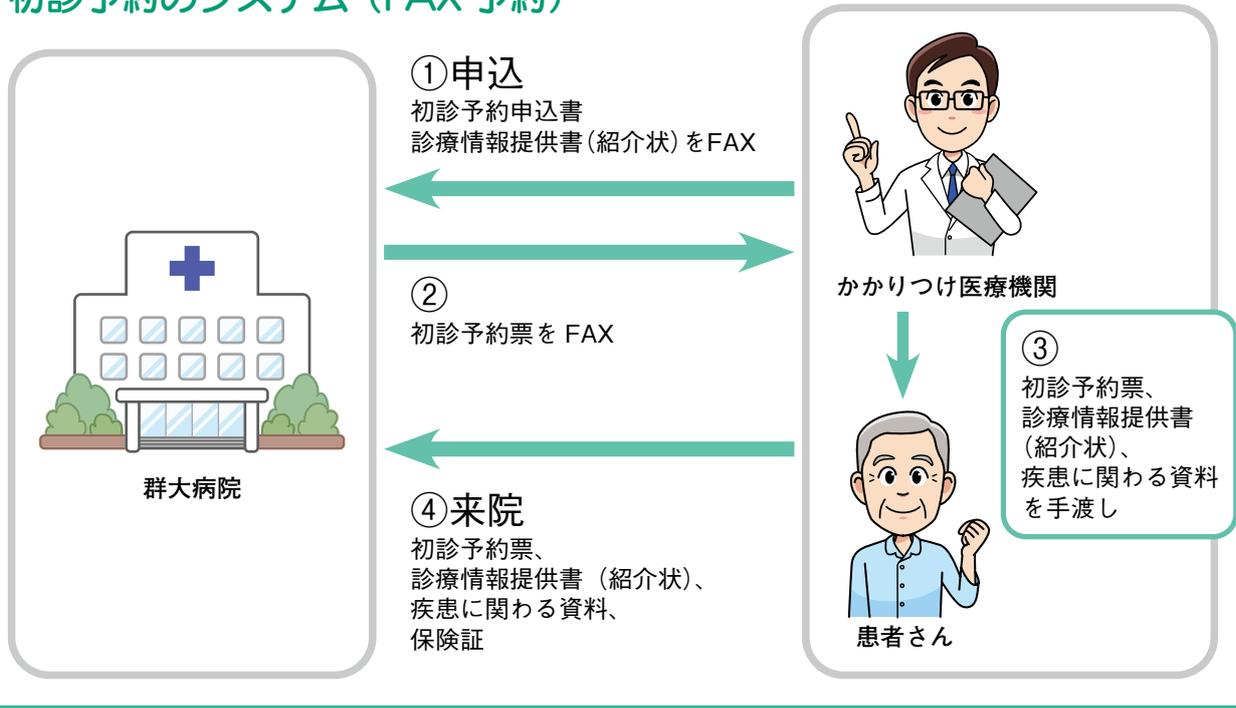
## 重粒子線医学センターへの患者さんのご紹介について

重粒子線医学センターの受診は、医療機関からの紹介による完全予約制となっております（図参照）。

- ①かかりつけ医療機関で初診予約申込書（当院患者支援センターのページよりダウンロードできます。  
（<https://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/chiihirenke.html#d>）すべての項目を記入し、診療科名は「重粒子線医学センター」を選択してください。診療情報提供書（書式の指定はありません。「群馬大学医学部附属病院・重粒子外来」宛）をご準備いただき、当院の患者支援センター宛にFAXをお願いします。
- ②FAXを受信後、15分を目安に予約を取得し、「初診予約票」をFAXで返信いたします。
- ③初診予約票、診療情報提供書の原本、CTやMRIなどの診断画像、検査データ、病理標本プレパラート（疾患に関わる資料）を患者さんにお渡しください。
- ④予約当日は、③の資料に加えて保険証を持参し、群馬大学医学部附属病院の外来棟1階中央受付（7番窓口）で初診の手続きをするよう患者さんにお伝えください。

詳しい流れについては、群馬大学重粒子線医学センターのHPをご覧ください。多くの患者さんに円滑な受診をしていただくため、ご協力をお願いいたします。

### 初診予約のシステム（FAX 予約）



### 群馬大学基金へのご寄附のお願い

治療開始から10年以上が経過し、近い将来装置のリニューアルが必要となるため、最新の治療技術を提供できるよう研究・開発を行っています。重粒子線治療の普及・発展のため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様からのご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

群馬大学基金  
QRコード



連絡先

月曜日から金曜日（午前9時から午後4時まで）

- 治療に関するご相談について …… 重粒子外来
  - 資料の送付やイベント情報について …… 総務課 法規・広報係
- \* 詳細はHPをご確認ください。 <https://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp/>

TEL 027-220-7891  
TEL 027-220-7895

QRコードはこちら→

